夕刊 臺灣新民報
昭和十七年九月八日（火曜日）
臺灣日日新報
第一万五千二百七十號 （一）
（第二種郵便物認可 昭和十五年九月三日第三種郵便物認可）（明治卅一年六月一日創刊）
九月七日

第九回大詔奉戴日
國民貯蓄組合強化擴充
あすの國民實踐事項

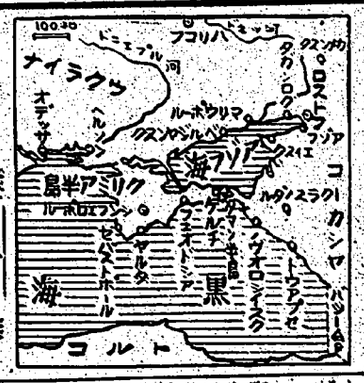
【東京發同盟】愈〻八日、大詔奉戴第九回を迎へる大東亜戦下、この日の内閣情報部は「國民貯蓄組合の強化擴充」を中心とする國民實踐事項に關し、次の如く發表した
一、本年度國民貯蓄組合に未加入者のある場合は速やかにこれが加入を圖ること
二、國民貯蓄組合に於ては貯蓄の增强を圖ると共に生活に關する指導を强化すること
三、組合による貯蓄は貯蓄してゐる銀行等報告としては生活に關する指導を强化すること
四、貯蓄額を一般に强化すると共に特に勤勞者の貯蓄を增强すること
五、各國民組合にあつては隣組單位の座談會を開催し國民貯蓄の重要性を認識せしめ貯蓄の實踐を期すること

ノヴオロシースク攻略
ソ聯黑海艦隊牙城潰ゆ

【ベルリン六日發同盟】獨軍司令部は六日特別發表を以て次の如く發表した
セバストポリ陷落後ソ聯黑海艦隊に殘された唯一の重要軍港ノヴオロシースクの陸海空の攻略は獨伊枢軸軍に依つて續ゆるやかに進められてゐたが、バーデン、フランコニアン、ヘシアン及びルーマニア騎兵部隊と密接に協力して極めて不利なる地形の下で數日間に亙る激戰の後この程ついに成功を獲得したものである、戰利品については未だ詳細の報告に接してゐない

黑海艦隊全滅の危機
獨軍はほぼ全黑海岸制壓

【ベルリン六日發同盟】獨軍のタマン半島進擊は目覺ましく、ケルチ海峽からの脫出を企圖したソ聯黑海艦隊の殘存艦船は、ほとんど全部獨伊空軍の爆撃によつて撃沈されたものと見られ、ソ聯黑海艦隊の全滅の危機は刻々に迫つてゐる



アロル島等戰定記
蘭兵を捕ふウマル王
南海に轟く皇軍歡迎の聲

【チモール發ラーバンに同盟特派員電】かつてオランダが放棄した「理想にもりはめた國家の首都」の一つであるポルトガル領の島に於ける皇軍の進駐ぶりは、ロンブレンの陷落に際して、わが部隊は生きた人間から全く絶えて久しく感じてゐた總督の歡迎を受けた、特にウマルの感激は一入であつた、彼はウマルの感激は一入であつた、彼はウマルの感激は一入であつた、彼は

六百萬島民の赤誠
遂に一二百萬圓を突破
軍司令部扱ひ獻金總額

十二月八日から
九月七日まで

陸海軍のみこゝろに
感激のまことを
捧げられた
獻金のうち
その後に
一般から
軍司令部へ
寄せられた
獻金は
昭和十六年
十二月八日
から
昭和十七年
九月七日
まで
一億二千
萬圓を
突破した
この
獻金は
十七日
午後
三時
現在
一億二千
百四十
萬圓
に
なつて
ゐる

△獻納金　四千六百四十五圓
△獻納品　九萬四千　六百個（點）
△獻納品評　二千六百個（点）
△獻納繪　二千六百個（点）

蘭陽地方災害復舊費に
二百五十萬圓を上程
十八日　臨時州會を招集審議

新竹州で
は
蘭陽
地方
災害
復舊
費
として
二百
五十
萬圓
を
上程
する
ことと
なつた
これが
審議
のため
十八日
臨時
州會
を
招集
する
ことと
なつて
ゐる

石垣軍曹の英靈還る
けふ市民の感謝哀悼裡に

教員獲得の對策成る
臨時國民學校教員養成講習會設置
義務教育制實施に萬全

起重機護つたジヤワ人へ
賞詞と金一封贈り表彰

全島保育園保姆錬成會開催
廿一日から草山に

二國志
（赤壁の巻）
吉川英治作
矢野橋村畫

大東亞海街道の基點
日章旗天然の良港西貢を埋む
談氏治準井土

滿洲建國の遺兒出發
明治、靖國兩神社に參拜

敵性拂拭日に增す復興
今昔の感深しラングーン港

鎌倉丸マ港に入港

式典參列の壯擧出發
北市代表出發

新竹州廳庄長
錬成會終る

高血壓中風
今津博士の業績しい研究

毛つや出し
日本香油
榮養
養毛コレステリン配合

芯油の子粒微
ラプトン鉛筆
果然ヒット!!
小笠原美都子
節のもはつ
海南きな涯
ラクビ
過労倦怠
体母なる健康

臺灣日日新報　第一万五千二百七十號　昭和十七年九月八日（火曜日）　（第二号）（昭和十七年九月九日第三種郵便物認可）

臺灣日日新報

本日夕刊共六頁

第九回大詔奉戴日

詔書

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ皇祚ヲ踐メル大日本帝國天皇ハ昭ニ忠誠勇武ナル汝有衆ニ示ス

朕茲ニ米國及英國ニ對シテ戰ヲ宣スル朕カ陸海將兵ハ全力ヲ奮テ交戰ニ從事シ朕カ百僚有司ハ勵精職務ヲ奉行シ朕カ衆庶ハ各々其ノ本分ヲ盡シ億兆一心國家ノ總力ヲ擧ケテ征戰ノ目的ヲ達成スルニ遺算ナカラムコトヲ期セヨ

抑ミ東亞ノ安定ヲ確保シ以テ世界ノ平和ニ寄與スルハ不顯ナル皇祖考不承ナル皇考ノ作述セル遠猷ニシテ朕カ拳々措カサル所而シテ列國トノ交誼ヲ篤クシ萬邦共榮ノ樂ヲ偕ニスルハ之亦帝國カ常ニ國交ノ要義ト爲スル所ナリ今ヤ不幸ニシテ米英兩國ト釁端ヲ開クニ至ル洵ニ已ムヲ得サルモノアリ豈朕カ志ナラムヤ中華民國政府曩ニ帝國ノ眞意ヲ解セス濫ニ事ヲ構ヘテ東亞ノ平和ヲ攪亂シ遂ニ帝國ラシテ干戈ヲ執ルニ至ラシメ茲ニ四年有餘ヲ經タリ幸ニ國民政府更新スルアリ帝國ハ之ト善隣ノ誼ヲ結ヒ相提攜スルニ至レルモ重慶ニ殘存スル政權ハ米英ノ庇蔭ヲ恃ミテ兄弟尙未タ牆ニ相鬩クヲ悛メス米英兩國ハ自國ノ爲ニ帝國ノ周邊ニ於テ武備ヲ增強シテ我ニ挑戰シ更ニ帝國ノ平和的通商ニ有ラユル妨害ヲ與ヘ遂ニ經濟斷交ヲ敢テシ帝國ノ生存ニ重大ナル脅威ヲ加フルニ及ヘリ朕政府ヲシテ事態ヲ平和ノ裡ニ回復セシメムトシ歷年久シキニ彌リタルモ彼ハ毫モ交讓ノ精神ナク徒ニ時局ノ解決ヲ遷延セシメテ此ノ間却ツテ經濟上軍事上ノ脅威ヲ增大シ以テ我ヲ屈從セシメムトス斯ノ如クニシテ推移セムカ東亞安定ニ關スル帝國積年ノ努力ハ悉ク水泡ニ歸シ帝國ノ存立亦正ニ危殆ニ瀕セリ事既ニ此ニ至ル帝國ハ今ヤ自存自衞ノ爲斷然起ツテ一切ノ障礙ヲ破碎スルノ外ナキナリ

皇祖皇宗ノ神靈上ニ在リ朕ハ汝有衆ノ忠誠勇武ニ信倚シ祖宗ノ遺業ヲ恢弘シ速ニ禍根ヲ芟除シテ東亞永遠ノ平和ヲ確立シ以テ帝國ノ光榮ヲ保全セムコトヲ期ス

御名御璽

昭和十六年十二月八日

各國務大臣副署

府局部長會議

【東京發同盟】第二回大詔奉戴日ニ當リ政府ハ八日午前十時ヨリ閣議ヲ開催シ各閣僚ハ七日午後二時ヨリ總理官邸ニ參集シ各局部長會議ニ於テ左記事項ヲ協議決定シ午後三時四十分ヨリ各閣僚ハ總理官邸ニ參集シ各局部長會議ヲ開催シ左記事項ヲ協議決定シ午後四時四十分ヨリ各閣僚ハ總理官邸ニ參集シ各局部長會議ヲ開催シ左記事項ヲ協議決定シ午後五時ヨリ各閣僚ハ總理官邸ニ參集シ各局部長會議ヲ開催シ左記事項ヲ協議決定シ午後六時ヨリ各閣僚ハ總理官邸ニ參集シ各局部長會議ヲ開催シ左記事項ヲ協議決定シ午後七時ヨリ各閣僚ハ總理官邸ニ參集シ各局部長會議ヲ開催シ左記事項ヲ協議決定シ午後八時ヨリ各閣僚ハ總理官邸ニ參集シ各局部長會議ヲ開催シ左記事項ヲ協議決定シ午後九時ヨリ各閣僚ハ總理官邸ニ參集シ各局部長會議ヲ開催シ左記事項ヲ協議決定シ午後十時ヨリ各閣僚ハ總理官邸ニ參集シ各局部長會議ヲ開催シ左記事項ヲ協議決定シ午後十一時ヨリ各閣僚ハ總理官邸ニ參集シ各局部長會議ヲ開催シ左記事項ヲ協議決定シ午後十二時ヨリ各閣僚ハ總理官邸ニ參集シ各局部長會議ヲ開催シ左記事項ヲ協議決定シ午後一時ヨリ各閣僚ハ總理官邸ニ參集シ各局部長會議ヲ開催シ左記事項ヲ協議決定シ午後二時ヨリ各閣僚ハ總理官邸ニ參集シ各局部長會議ヲ開催シ左記事項ヲ協議決定シ午後三時ヨリ各閣僚ハ總理官邸ニ參集シ各局部長會議ヲ開催シ左記事項ヲ協議決定シ午後四時

社説

大詔奉戴貯金と決戦生活

率公班の申合要望さる

一

畏くも陛下には大詔を渙発あらせられ、必勝の信念いよ〳〵鞏固ならしめ給ふのであります。国民皆挙の大東亜戦争に際し、其の戦争完遂の大御心を奉体して、国民総力の一段の発揮を図りつつあります。この時に当り、官民協力して大詔に対し奉戴の誠を致さんがために、どうしてもなすべき日常の中の大事があります。大詔を拝して国民皆挙の戦争完遂に邁進する時代に適応した国民生活の確立であります。本年は国民総力会内の翼賛国民運動本部が中心となり大詔奉戴貯金の創設が協力し、去る八月一日より一斉に開始せられました。大詔奉戴貯金の特別強化期間であります。

二

大詔の渙発は国民に対して日頃説くまでもなくつとに承知しゆくべき筈のものであります。この意味からいえば、改めて説く必要はないともいえましょう。併しながら、戦争の切迫せる今日、大詔渙発の意義を国民各自が更に一層深く体得し、これを日常生活の上に具現することは、国民総力の発揮上極めて重要であります。大詔渙発の意義を体得するといふことは、大詔の御精神を奉戴して、戦争完遂に邁進することであります。大詔奉戴貯金の特別強化期間は、大詔の御精神を具現する一つの方法であります。

三

そこで貯金運動の一般的意義については、既に屢〻説かれてゐるところでありますが、特別の強化期間に当たる今日、一般の貯金運動とは異つた特別の意義があります。それは、大詔渙発の意義を体得し、これを具現するといふ点に特別の意義があるのであります。

武装も物々しく！

未開の天地へ突き進む

ルオイア」「ホイア」勇ましいかけ声だった。赤ら顔が意味をとると二十何人の酋長の総勢に加えられた彼は酋長のやうに扱われ、ボルネオの奥地の探検に出かけるのだ。

ボルネオ島はアジア大陸の南東に横たわる世界第三の大島で、日本の約三倍の広さがある。その大部分は未開の天地で、ここに住む原住民は大体マレー系の人種だが、ダイヤク族（狩人部族）、ケニヤ族（首狩り族）、カヤン族（森の民）、ケラビット族（小人族）、ブキット族（山の民）、ブルネオ族（海の民）、ムラナウ族（湖の民）、ムルット族（洞窟の民）、ケニヤ族（首狩り族）、カヤン族（森の民）、ケラビット族（小人族）、ブキット族（山の民）、ブルネオ族（海の民）、ムラナウ族（湖の民）、ムルット族（洞窟の民）などと呼ばれる種族に分かれ、言語、風俗、習慣を異にしてゐる。

ボルネオの北部は英領で、ここに住む原住民は首狩りの風習があるので有名だ。

ボルネオの南部は蘭印領で、ここに住む原住民は首狩りの風習はないが、やはり未開の生活をしてゐる。

ボルネオの奥地探検は、この南部の蘭印領で行はれるのだ。

探検隊は、ブロンガン族酋長ラデン・ムハマッド・ヤマン・ジャヤ、ダヤク族酋長ラデン・ボルネオ、ムルット族酋長ラデン・ケニヤ・ムラナウ族酋長ラデン・ケラビット族酋長ラデン・ブキット族酋長ラデン・

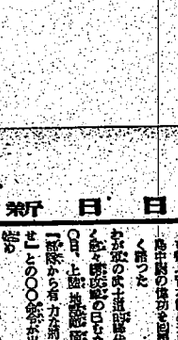
必勝の決意も新らたに
けふ九たび大詔奉戴日
貯金で示す銃後の熱誠
擧島・築け吾等の貯蓄戰線

個人感狀に輝く四勇士

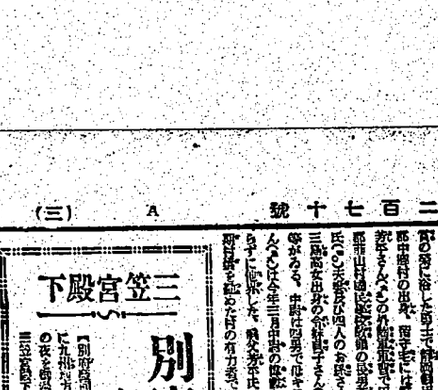
人間業ならぬ働き
青木中尉 戰友增島中尉を語る

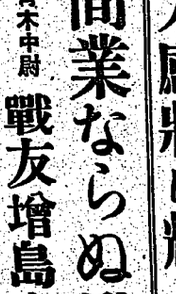
増島幾平中尉

幼時から軍人が好き
増島中尉の嚴父語る

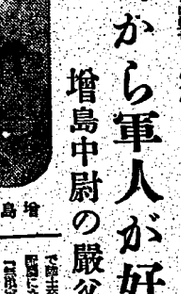

原幹一上等兵

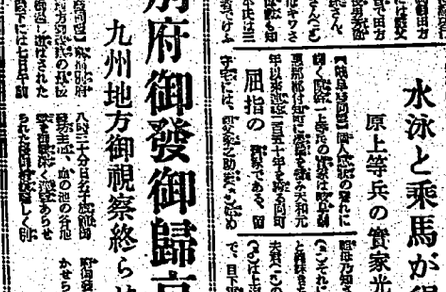
責任感
勿體ないことです
筒井一等兵實父語る




筒井七助之一等兵

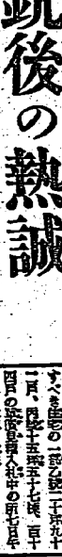
負けん氣の強い子
家族が語る莊田一等兵


莊田義高一等兵



艦橋に命中彈二發
一瞬・米潛水艦轟沈
海鷲・見敵必殺の索敵奏功

皇軍慰安演藝會
きのふ第二日も盛況を極む



きつこるぞ弟が！

在支米空軍〝撃滅を喜ぶ〟

新竹州教育課の小野さんは語る

もついて居をにじらされこした

戰歿軍人遺族慰安

【臺南電話】軍人遺族慰安會開催については既報の如くであるが、愈々來る廿三日午後一時より市公會堂に於て開催することとなり、目下關係者は慰安會の準備に忙殺されてゐる、尚ほ當日は遺族の外に出征軍人家族をも招待し、午前九時より參拜水道にて祭典を行ひ、午後一時より慰安會を開催し、午後三時より餘興として演藝會を開催する豫定である

和知軍政監から

故郷村君の遺族へ弔慰金

【臺南電話】出征和知軍政監は、今回の戰爭に於て、七月廿七日北支一帶の警備に當つてゐた際、敵匪討伐の爲め出動し、不幸戰死を遂げた故郷村君の遺族に對し、弔慰金として金百圓を贈ることとなり、廿四日午前九時より參拜水道にて祭典を行ひ、午後一時より慰安會を開催し、午後三時より餘興として演藝會を開催する豫定である

狩獵報國へ

高雄署で免許證を下附す

【高雄電話】高雄警察署内の警察課では、今回支那事變の勃發に際し、銃後國民として國家の爲に何かせねばならぬと考へ、狩獵報國の意味に於て、狩獵免許證を下附することとなり、既に十七日迄に二十名の申込があつたので、十八日午前十時より同署内に於て、同署長より一人一人に對し、免許證を交付することとなつてゐる

大日本婦人會支部

十七日高雄州で結成式

【高雄電話】大日本婦人會高雄州支部結成式は、十七日午前十時から州廳樓上に於て擧行されるが、同會は州内各地に支部を設置し、既に岡山、旗山、鳳山、屏東、東港、潮州、恒春、阿緱、鹽埔、里港、九曲堂、六龜、美濃、甲仙、杉林、内門、大寮、林園、大社、仁武、鳥松、岡山、燕巢、橋頭、楠梓、左營、鼓山、鹽埕、前鎮、苓雅、三民、湖内、茄萣、永安、彌陀、梓官、旗後、前金、苓仔寮、鳳儀、大樹